（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（北信地域）

平成２７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域の偉人「和算家・野口湖龍」に学ぶ～村制 60 周年・没後 200 年記念～
事業主体 （連絡先）	木島平村 （　電話：0269-82-2041　）
事業区分	（３）教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	912,234 円（うち支援金：670,000 円）

事 業 内 容

地域に残る和算資料（算額・書物）とその先駆者を題材にした各種事業を行い、地域の誇れる文化財を再認識するために次の事業を行う。

1　講演会「和算の楽しみ方と算額の魅力」の開催
2　和算資料展示と解説「野口湖龍の算額と和算資料」の開催
3　ガイドブック「和算家野口湖龍とその門人たち」の作成
4　朗読劇「三餘の学び～和算家・野口湖龍～」の公演

【　文化財ガイドマップ　】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

地域に残る和算資料（算額、書物）とその先駆者を題材に、地域に残る文化財を再認識するとともに、児童から高齢者まで、幅広く学習する機会を提供した。また、舞台芸術をとおして偉人の功績を理解するきっかけづくりにするとともに、演劇グループによる舞台制作から公演を住民とともに作り上げた。

１講演会「和算の楽しみ方と算額の魅力」36 人
２**和算資料展示と解説**「野口湖龍の算額と和算資料」160 人
３**ガイドブック発行**「和算家野口湖龍とその門人たち」500 部
４**朗読劇公演**「三餘の学び～和算家・野口湖龍～」120 人

【目標・ねらい】

［目標］
●記念講演会及び朗読劇の開催
●和算資料及びガイドブックの発行
［ねらい］
●文化財・歴史に対する見識向上

※自己評価【　B　】

【理由】
当初の目標を達成し、地域の文化財及び歴史に対する見識を高める事ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

算額を常設展示している「ふるさと資料館」の来館者数の増加に努める。
また、来館された方に文化財ガイドマップ「和算家　野口湖龍とその門人たち」を配布し、木島平村と和算とのつながりを、深く理解していただく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある